

KRC WEB REPORT

徒然想

穏やかな季節を迎えるたび、安心して日々を過ごせることの尊さを感じます。しかし世界では今なお戦争や紛争が続き、多くの人々の日常が奪われています。なぜ私たちは、人々の暮らしを犠牲にする争いを繰り返してしまうのでしょうか。薫風の心地よさを感じる一方で、平穏な日常の大切さについて改めて考えさせられます。互いを尊重し、「足るを知る」という気持ちを持ちながら、それぞれが安心して暮らせる社会を築いていくことができればと願ってやみません。一日でも早く、世界中の人々が穏やかな日常を取り戻せますように。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

【NETIS 登録】山岳トンネルにおけるプロジェクションマッピングの活用

このたび、株式会社大本組様と当社で共同開発した「山岳トンネルにおけるプロジェクションマッピングを活用した施工管理支援技術」が、国土交通省の新技术情報提供システム NETIS に登録されましたので、お知らせ致します。

NETIS 登録番号:KK-260009-A

技術名称:山岳トンネルにおけるプロジェクションマッピングの活用

本技術は、LiDAR による現況形状と設計形状の差分をリアルタイムにヒートマップとして可視化するシステムです。(詳細は WebreportNo.243 をご覧ください。)プロジェクションマッピングによって差分を対象面に投影することで、全作業員が直感的に形状を把握できることが特徴です。

山岳トンネルの切羽やインバート面に対して本技術を活用することで以下の効果が期待できます。

施工性・経済性の向上	インバート掘削時の計測作業やコンクリート打設時の準備工が省力化できる
安全性の向上	切羽直下における目視でのアタリ確認作業およびインバートの出来形計測を削減することで、肌落ちや重機近接作業等の危険性が低減できる

ぜひお気軽にお問い合わせください。



切羽への適用状況



インバートへの適用状況

※特許出願済(特開 2024-76916、特開 2024-76917)、実用新案登録(登録第 3254685 号)